

【神棚拝詞】

此れの神床に坐す、

掛けまくも畏き、

天照大御神、産土大神等の大前を拝み奉りて

恐み恐みも白さく。

大神等の広き厚き御恵みを辱なみ奉り、

高き尊き神教えのまにまに、

明き直き正しき真心をもちて、

誠の道に違ふことなく

負い持つ職業に励ましめ給い、

家門高く、

身健やかに世のため人のために尽さしめ給えと

恐み恐みも白す。